

目標達成計画

作成日: 平成 23 年 3 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	30	かかりつけ医との連携が十分に行えていない。 (特に御家族が受診対応する入居者様の場合)	かかりつけ医との連携を密にし、入居者様の健康管理を行う。	・かかりつけ医に報告、確認したい事項がある場合は、御家族に書面または口頭で伝言する。 ・受診後には、御家族に受診内容の確認を行う。	6ヶ月
2	49	日常的な外出支援が行えていない。	日常的な外出の機会を設け、楽しみのある生活を送っていただけるよう支援する。	・天候に配慮し、ドライブを行う。 ・自分で意思を伝えにくい入居者様に対しては、生活歴や御家族への相談を行い、外出の機会を増やす。	6ヶ月
3	6	身体拘束を行っている。 ①日中の時間帯のグループホーム玄関の施錠。 (離接防止の為) ②夜間帯にベッド柵を2箇所固定し、自由に降りられないようにしている。(転落・転倒防止)	身体拘束を行わないケアをする。	・入居者様の外出の希望を把握し、日常的な外出の機会を設ける。	6ヶ月
4	33	終末期ケアについて、指針は作成されているが、職員に対する研修や教育等が行えていない。	終末期ケアを行い、安心した施設生活を送っていただけるようにする。	・研修の機会を設け、終末期ケアに対する知識と意識を深める。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。